

保育内容（人間関係）の指導法

評価項目	A	B	C	D
(1) 保育内容の領域「人間関係」のねらいと内容、指導上の留意点を理解し説明できる(C-2)	ねらいや内容、指導上の留意点を深く理解し、独自の視点や例を挙げて適切に説明できる。	ねらいや内容、指導上の留意点を十分に理解し、具体的に説明できる。	ねらいや内容、指導上の留意点がある程度理解している。	ねらいや内容、指導上の留意点の理解に不足がある。
(2) 模擬保育への取り組みを通して保育を構想し実践する方法を身に付けることができる(D)	保育の構想や実践方法を適切に理解し、模擬保育に独自のアプローチや工夫を凝らし取り組み、実践的な成果を上げることができる。	保育の構想や実践方法を適切に理解し、模擬保育の取り組みを通して実践力を身に付けることができる。	保育の構想や実践方法について基礎的な理解があり、模擬保育を部分的に実践できる。	保育の構想や実践方法の理解に不足があり、適切な模擬保育の計画を立てられない。
(3) 幼児の人との関わりを育む指導について省察することができる(D)	幼児との関わり、指導方法や改善点について深い洞察を示し、指導力の向上に繋げる記述ができています。	幼児との関わりについて適切に省察しており、指導方法や改善点について記述できている。	幼児との関わりについて一部省察しているが、指導方法や改善点について記述に不十分な点がある。	幼児との関わりについて省察する能力に不足がある。